

遠洋マグロ船について

5215 K

テーマ設定の理由

私は「マグロの水あげについて」と「マグロは月にどのくらい水あげされているか」知りたいと思い、『遠洋マグロ船』について調べることにしました。調べた研究内容を全国の人に発表して、気仙沼の漁業をより広めていきたいと思いました。

研究内容

1 ここでは、まず私が船に入って思った事をまとめてみました。



遠洋マグロ船は、遠い所へわざわざマグロを採りに行って来てくれる船です。

とても、大きくって 395 トンもあるそうです。だから、私は直接行く事にしました。船内は、思った以上にせまくて1人ずつ入るだけでもいっぱいでした。

漁師さんが休む所は、長い廊下があります。やはりココもとてもせまかったです。漁師さんの部屋は3人部屋もあれば2人部屋もありました。ベットが、小さくてきゅうくつそうでした。コック、船長などは1人部屋なので、けっこう広がったです。

私は、「ずっと船の上にいる漁師さんたちは船よいに、きつとなれているんだ」と思いました。

3 ここでは、紹会できる部屋を教えます。

一人部屋 ↓



船内には、まだまだ部屋がたくさんあります。

例えば… **調理室**

ほとんどが「コックさん」がいるところです。

コックさんは、1日じゅう料理をしていて、外に出てくることはほとんどありません。

調理室は、漁師さんが食事する所につながっていて、すぐにご飯が食べられるように、なっています。

食事する所はふつうの家のように、テレビだってあります。ただ、1つちがうのは、船の中はもちろんゆれるので、テレビをガムテープでくっつけたりして生活の中でも、工夫していました。

操縦室

この部屋は、船を動かす大事な所。

以外な事に、自動車のように「ハンドル」が円になっていました。

他にも、行きたい所をセットしておけば、そこに自動でいってくれる機械もあるし「魚群探知機」と言う魚の、群れを探してくれる機械もあります。

漁師さんたちは、色々な工夫をこらして漁をしています。

・魚群探知機 とは魚の群れを、探してくれる機械です。

マグロを保存する場所

「冷凍庫」

冷凍庫は、思った以上に広くて何10分も入られないくらい寒いです。

そこで実際に入ってみると本当にすごく寒くて鳥はだが、たちました。2部屋になっていて1つの部屋では、たなが、置いてあってもう一つの部屋は何もない広ーい部屋です。その天井に息をふきかけると、雪の

ようなした氷が落ちてきます。真冬の世界に来たようです。

だから、私はよくこんな所で働けるなあと、思っていました。



まとめ

この研究をして、分かった事は「遠洋マグロ船」は、とても大きくてそれなのに船内は、狭いのです。

それから、マグロ船の「まきあみ漁」でとれる主なマグロは……

『ミナミマグロ』『メバチ』などなど……。他にも、あります。

船内には、たくさんの部屋があり、迷ってしまうくらいでした。
マグロの取り方は他にもたくさんあります。

「まきあみ漁」とは・・・

数台の船で、ぐるっと円をかいでマグロを取る事です。
でも、一本ずりに比べてみれば、多くとれますが傷ついてしまうことはあります。
多くとれるのは、まきあみでマグロが傷つかないで正確にとれるのは、一本ずりです。

海では、色々な種類の魚がとれていてとても、暮らしやすい町だとおもいます。
でも、暮らしづらいところもあります。

まず、「**漁師さんが減ってきている問題**」です。

昔は、魚市場だけで約500人も多い時は、いたそうです。

しかも、今は57代～60代の人が増えているばかりではなく、今漁をしている人すらも、減り続けているのです。そして、この状態が続くと漁師さんがいなくなり、さらにマグロ、魚が食べられなくなるのです。

今解決策を、さがしています。

次に、「**マグロ船の大変なところ**」についてです。

遠洋マグロ船は、魚市場で28船持っていて困らないとおもいますが、船にも寿命があります。マグロ船は、漁から帰って来るまで約300日も、かかりその間に、船がサビたり海藻が付いたりしているそうです。時には傷ついたり故障したりしてしまったりもします。船買うのに必要なお金は、なんと・・・

2億6000万 です。

だから、足りないと漁ができなくなってしまいます。

この研究のまとめは・・・

多いと高くなる
魚を買う人が
少ないと安くなる

感想

私は今までのことをふりかえって、色々な経験、勉強ができました。

船の船内は狭かったこと、マグロは1ト取れること。

いままで、興味のなかったマグロ船がこんなに自分が、詳しくなれるなんて嬉しいです。これからも、この勉強したことを生かし色々な事に取り組んでみたいと思いました。もしも、[気仙沼に来る予定](#)の方は、ぜひぜひ立ち寄ってみてください。

みなさん

気仙沼を楽しんでください